サステナビリティ・ビジョン

東レグループは創業以来、「素材には、社会を変える力がある」 という信念のもと、時流に迎合せず「長期的ビジョンを持って、時 代に適合する」方針を貫き、革新技術・先端材料の提供によって 社会に奉仕することを存立の基盤として歩んできました。

その一方で、気候変動・水不足・資源の枯渇など、私たちを取り 巻く地球環境は日々厳しさを増しています。また、2050年には世 界の人口が約100億人に達すると予想されています。人口増加 と高齢化を背景に、人々の健康の維持・向上も重要な課題となっています。

そうした中で、地球資源を使って経済活動を展開する私たちが、地球規模での「発展」と「持続可能性(サステナビリティ)」の両立をめぐるさまざまな難題に対し、英知を結集させて取り組むことは必然の活動であると言えます。



革新技術・先端材料の提供により、 世界的課題の解決に貢献します

東レグループの事業推進による社会への貢献と、それに伴う 環境負荷の低減についての考え方と中長期の取り組みを示した いという想いから、2018年7月に「2050年に向け東レグループ が目指す世界」、その実現に向けた「東レグループの取り組み」、 及び「2030年度に向けた数値目標(KPI)」を盛り込んだ「東レグ ループ サステナビリティ・ビジョン | を公表しました。

東レグループは2050年に向け、4つの側面からあるべき世界をイメージし、革新技術・先端材料を通じて私たちが世に提供できる価値を踏まえて取り組むべき課題を設定しました。その上で、自らの成長によって、世界の持続可能性に負の影響を与えない努力を尽くすとともに、全世界のパートナーとともにSDGs(持続可能な開発目標)をはじめとする世界的目標の追求のために、全社横断で課題解決に取り組んでいます。



